

『本物を見つけよ』 ～ 『貴重な生涯の教育』 ～

筆者は、島根県出雲市大社町鶴峠で生まれ出雲弁で、人と話すのが苦手であった。そして、癌研時代の恩師の病理医：菅野晴夫先生(1925-2016)に出会って『病理学』に進んだ。『風貌、人となり』を病理組織標本を顕微鏡で診断しながら教わった。米国インシュタイン医科大学肝臓研究センターに留学(1984～1985)、そして、菅野晴夫先生に、フィラデルフィアのフォクスチェース癌センタ(Fox Chase Cancer Center)の Knudson 博士(1922-2016)の下で『Science を学んでくるように』と留学(1989～1991)の機会が与えられた。Knudson 博士からの『貴重な生涯の教育』は、『大切なものは少ない、本物を見つけよ。 どうでもいいことに縛られるな』であった。そして、癌研実験病理部部長として、帰国するようにと指示を頂いた。

筆者が、若かりし頃に読んだ南原繁(1889-1974)の本に、『私の先生は内村鑑三(1861-1930)、新渡戸稲造(1862-1933)』と書いてあったから、この二人の本を読むようになった。菅野晴夫先生の恩師：吉田富三(1903-1973)と Knudson から学んだのが『科学・生物学』。新渡戸稲造、内村鑑三、南原繁から『人間学』というのを学んだ。『人生最高の三大法則は、良き先生に出会う、良き友に出会う、良き読書に出会う』で『読書は人間をつくるもの』(新渡戸稲造)の心得である。それが【『生物学』と『人間学』を合体】して『がん哲学=生物学の法則+人間学の法則』に繋がった。【『がん哲学』と『がん哲学外来』の源流】がある。

1月28日は【福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター がん相談支援センター】での『吉田富三記念 福島がん哲学外来』に赴いた。順天堂大学病院の外来で『がん哲学外来』が開設(2008年)された翌年(2009年)に福島県立医科大学で『吉田富三記念 福島がん哲学外来』がスタートされた。2007年にがん対策基本法ができ、がん拠点病院は『がん相談支援室』を設けたけども、患者が来なかったから、何かいい考えがないかといわれ、順天堂大学病院で、2008年の1月に『がん哲学外来』を行ったら、多くの予約待ちであった。『敷居の低い居場所』(2008年 東久留米市の International School でも開催した)である。1月30日は、2009年からスタートした『柏がん哲学外来』(画像)である。

# 柏がん哲学外来

がんの悩みを病院の外で心置きなく話がしたい

がん哲学外来は、がん患者、経験者、ご家族の為の対話の場です。

がん哲学外来を提唱された樋野興夫先生と

ゆっくり語り合ってみませんか？

費用無料  
1日3組まで  
要予約

面談時間(45分)

- ① 9時15分～10時
- ② 10時～10時45分
- ③ 10時45分～11時30分



順天堂大学名誉教授

がん哲学外来市民学会代表

一般社団法人がん哲学外来名誉理事長

新渡戸稲造記念センター長

恵泉女学園理事長

樋野 興夫

2024年

4月30日(火)

5月30日(木)

★ 6月27日(木) 15周年イベント

7月25日(木)

8月29日(木)

9月26日(木)

10月24日(木)

11月28日(木)

12月26日(木)

2025年

1月30日(木)

2月27日(木)

3月27日(木)

面談会場

柏地域医療連携センター

【柏西口からバスでの行き方】

2番乗り場からどのバスでも可

「向原住宅」下車

進行方向信号左折2分



申し込みフォーム



【主催】 柏がん哲学外来

【後援】 柏市

がん哲学外来市民学会

【協力】 NPO法人ホップ・ステップ・ハッピー

【問い合わせ】 090-4619-6933 (中野)